

事業名	ハート・ペアレント事業 <ニュー・チャイルド・ケア・センター(NCCC)>
事業分類	被災地、紛争地における自立・復興支援事業
<p>NCCCの意義</p> <p>孤児、あるいは孤児に準ずる子ども(両親、親戚が養育できない状態に陥った子ども)が、安心して生活できる環境の下で養育を受け自立できるよう物心両面から支援し、良き市民としてカンボジアを担っていく人材を育成する。</p> <p>入所者：20名(2016年3月31日現在)</p> <p>校外教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語教育：10月から週4日(月、火、水、金)HG日本語教室にて、6名が日本語を学習し、4名がアシスタントとして授業のサポートをした。 ・英語教育：11月まで週4日(月～木)二つのレベルに分かれて17名が学習。 ・アプサラダンス(クメール伝統舞踊)：毎週日曜日の午前2時間練習。センター訪問者に、習った踊りを披露している。 ・絵画教室：月2回(隔週の土曜日午後)「小さな美術スクール」(主宰者・笠原知子先生)で、絵画教室(油絵やアクリル絵)に参加。毎年、ウォーキングイベントのTシャツは子ども達の絵で作成。シムリアップ市内の絵画展に出展。また、日本でのチャリティディナーにも出品した。 <p>図書コーナーの利用と歯科治療</p> <p>昨年、大部屋の中に図書コーナーを設置し、定期的に朝の読書会を開催して本に親しんでいる。また、昨年に引き続き、12月にTAO東洋医学研究会の医師の方々に、歯科治療と虫歯予防教育を実施していただいた。昨年始まったこの活動によって、子ども達には毎日2回の歯磨きの習慣が根つき始め、虫歯が多かった歯の状態も少しずつ改善している。</p> <p>サラージュガニ(おいしい教室)の開催</p> <p>昨年に引き続き、チェイ村の主婦を対象に健康のための教室「おいしい教室」(保健・栄養・料理)を開催した。料理教室はシムリアップ市内のレストランのシェフによるカンボジア料理、日本人シェフによる創作料理を学び、栄養バランスのとれた食事の作り方についても学んだ。保健教室ではソッキイア看護師による健康についての学習。また、普段は運動をすることのない主婦にHGインターンの米山さんがエアロビクス教室を開いた。日本からのスタッフによる美容教室も好評だった。</p> <p>畑での野菜の収穫と鶏の飼育</p> <p>畑では継続的に野菜が収穫できている。季節に応じて、トウモロコシ、空芯菜、オクラ、カボチャ、じゃがいもなどを育て、子ども達の食事の材料にしている。鶏も飼い始めた。鶏の世話や農作業は子ども達も楽しんで取り組んでいる。</p> <p>日本との交流</p> <p>岡山学芸館高校、清秀中学校の生徒、岡山大学の学生、岡山市教育委員会の先生、ハート・ペアレントの方々、HGスタディツアーの方など多くの日本人がNCCCを訪れ、継続した交流をしている。また本年も、年間を通じて、岡山の小学校との手紙の交換のほか、スカイプで顔を見ながら話することによって、お互いが身近に感じられ、双方の子ども達にとっていい体験ができています。留学中のサオピアもスカイプで時々子ども達と交流している。</p> <p>卒業生の動向</p> <p>一昨年高校を卒業したソチアットが、2016年3月で日本国際協力財団(JICF)の支援による研修を終え、晴れて研修先の日系旅行会社への就職が決まった。企業でのインターンシップを経験して成長し、積極的に仕事に取り組むようになった。将来は英語・日本語ガイドになりたいという夢を持った彼のさらなる成長に期待したい。</p> <p>サオピアは日本での3年間の留学を終えて、3月に無事、専門学校を卒業、国家試験に合格して美容師免許を取得した。</p>	
<p>支援・協力団体</p> <p>ハート・ペアレント、高野山真言宗南真会、スタディツアー参加者、TAO 東洋医学研究会、翌檜、岡山せとうちライオンズクラブ、協力小・中・高・大学、HG 長岡クラブ、(公財)日本国際協力財団(JICF)</p>	

